

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市【 京都市 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	京都市立九条塔南小学校 4年1組…22名 ， 4年2組…23名 ， 教員…4名 育成学級 2名（4年…2名） 合計 51名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	障害者スポーツの選手を招いた講演や競技実技体験などを通して、オリンピック・パラリンピックについて知るとともに、障害のある人に対する理解、また、共生していくことについての理解を深めることができるようにする。
5 取組内容	<p>◆事前学習 総合的な学習の時間「みんなにやさしい塔南のまち」という単元において、障害のある方や高齢者の方についての学習を進めてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住んでいる地域の現状について調査</li> <li>・課題設定</li> <li>・課題解決のための情報収集、体験 (インターネットや本で調べる・体験等)</li> </ul> <p>◆当日の学習</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) はじめの挨拶、講師と選手の紹介</li> <li>(2) 講師の方からのお話             <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすの仕組みや操作方法</li> <li>・車いすバスケットボールについて</li> </ul> </li> <li>(3) 車いす体験             <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすに人を乗せて押したり、車いすに乗ってみたりする。(方向変換、Uターン、リレーなど)</li> </ul> </li> <li>(4) 車いすパスゲーム体験             <ul style="list-style-type: none"> <li>・選手のデモンストレーション</li> <li>・車いすでのパス、キャッチ、シュート、ゲーム</li> </ul> </li> </ol>





(5) 選手の方からのお話

- ・車いすバスケットボール選手になるきっかけ
- ・日常生活と選手としての生活
- ・子ども達に伝えたいこと

(6) 終わりの言葉

- ・子どもの感想発表

◆事後学習

体験したことやわかったことを、ポスターセッションやプレゼン発表等の方法で発表し、交流をする。

6 主な成果

- 障害のある方から実生活や社会生活をどのように考えて送っているのかといった話を直接聞かせていただくことにより、共生社会の大切さについて考えることができた。
- 障害者スポーツ（車いすバスケットボール）について知ることができた。
- スポーツの価値について考えることができた。
- 障害の有無に関わらず、全ての人に対してやさしい町・社会づくりについて考えることができた。

7 実践において工夫した点（事業の特色）

- 4年生なので、車いすバスケットボールをすることは難しいと考え、パスゲーム用のゴール（低いもの）を使ってゲームを行うよう、講師の先生に指示していただき、うまく行うことができた。
- 車いす体験を行ってから講師や選手から話を聞くのではなく、体験の前後に話を聞くことで、体験して感じたことを確認しながら話を聞いたり考えたりすることができた。
- 多くの車いすを用意することで、児童の活動量が増えた。

8 主な課題等

- 学習は2時間程度で適切だったと思うが、子ども達が選手ともっと話をしたがる様子が見られた。給食交流や休み時間での交流など、もっと関わる機会が作れたら良かった。
- 車いすで生活されている方も大きく活躍されていることは理解できたようだが、日常生活の困りなどについては十分に理解を深められなかったようである。生活場面での話など、子どもからもう少し気軽に質問できるような状況が作れたら良かった。

9 来年度以降の実施予定

次年度の4年生にも、今年度同様、総合的な学習の時間において福祉をテーマとした学習を進める予定である。車いすバスケットボールや点字体験など、できるだけ多くの体験的な活動を取り入れ、学習を進めていきたい。